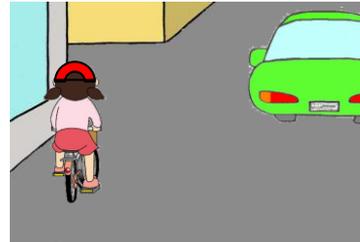


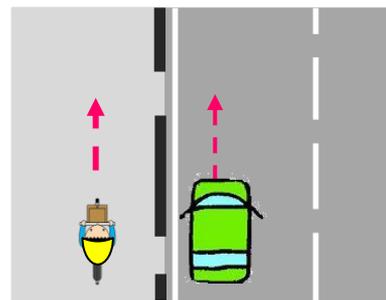
## 自転車の安心・安全確認テスト①

正しいものには○、誤っているものには×を（ ）に記入しましょう。

- 問1 ( ) 自転車は、法律では軽車両であり、自動車と同じく車両に分類される。
- 問2 ( ) 自転車のブレーキは、前輪・後輪の両方に必要である。
- 問3 ( ) 自転車には、ベル（警音器）が必要である。
- 問4 ( ) サドルにまたがったとき、両足先が地面につくようサドルの高さを調整する必要がある。
- 問5 ( ) 歩道がない道路では、図のように道路の左端を通行する。



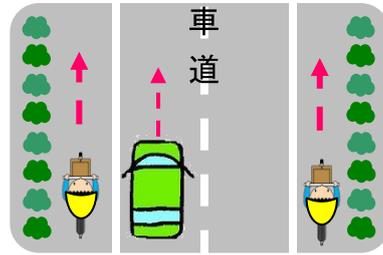
- 問6 ( ) 自転車は原則、車道通行であるが、車道や交通の状況によってやむを得ないときは、歩道を通行できる。
- 問7 ( ) 歩道を自転車で通行するときは、図のように歩道の中の車道側を通行する。



- 問8 ( ) 夕方になっても、外灯などで周りが十分に明るく、歩行者や他の車両が確認できるときは、ライトをつけなくてもよい。
- 問9 ( ) 踏切では、必ず一旦止まって左右を確認する必要がある。
- 問10 ( ) 自転車通行可の歩道を自転車で通行するときは、すぐに止まることができる速さで運転して、歩行者の妨げになる場合は、一時止まらなければならない。

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

問11 ( ) 歩道がなく、白線が一本ある（路側帯）道路では、下の図のように両側を通行することができる。



問12 ( ) 自転車で道路を横断するときは、斜め横断してはいけない。

問13 ( ) 自転車を運転中にブレーキが故障したとき、安全だと思えば運転を続けてもよい。

問14 ( ) 凍った道路や風雨の強いときは、自転車を押して通行する。

問15 ( ) 自転車を駐車するときは、歩行者や他の車両等の通行の妨げにならないように止める。

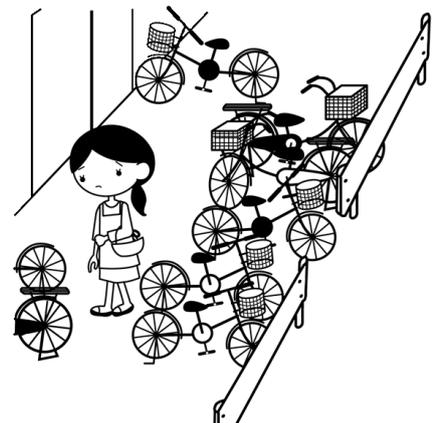
問16 ( ) 自転車で事故を起こしたときは、未成年でも（損害）賠償の責任を問われることがある。

問17 ( ) 自転車を押しているときは、歩行者と同じ交通ルールを守る。

問18 ( ) 自分より年下の人ならば、後ろに乗せて自転車を運転してもよい。

問19 ( ) 自転車の飲酒運転は法律で禁止されているが、罰則は定められていない。

問20 ( ) 自転車で事故を起こしたときは、けが人の手当をしたり、交通事故の状況などを警察に報告したりしなければならない。



( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

## 自転車の安心・安全確認テスト②

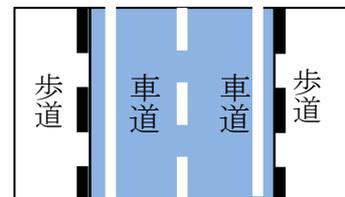
正しいものには○、誤っているものには×を（ ）に記入しましょう。

- 問1 ( ) 自転車を運転する前には、ブレーキやライトの点検やタイヤがすり減っていないかなど、確かめる必要がある。
- 問2 ( ) 未成年の高校生であっても、自転車で事故を起こしたときは、罪に問われることがある。
- 問3 ( ) 狭い道路から広い道路に出るときは、一時停止をして安全を確認する。
- 問4 ( ) 自転車の荷台やかごに積むことのできる荷物について、特に決められたルールはない。

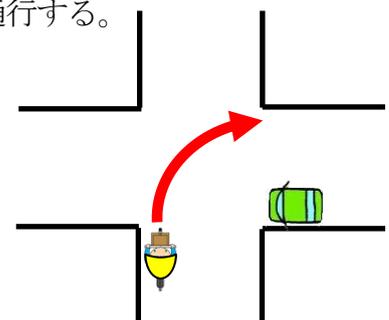
- 問5 ( ) この「一時停止」の標識は、自動車が対象なので、自転車は従う必要はない。



- 問6 ( ) 傘などの物を持って自転車を片手で運転することは、禁止されている。
- 問7 ( ) 自転車通行可の歩道が道路の左右両方にある場合、進行方向の左側の歩道だけが通行できる。



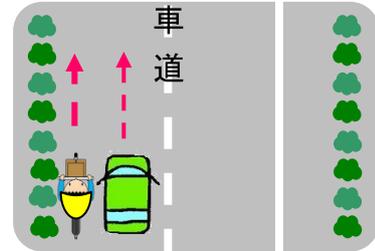
- 問8 ( ) 近くに横断歩道がない道路を自転車で横断しようとするときは、よく見渡せる場所を探して、安全を確かめてから横断する。
- 問9 ( ) 携帯電話やスマートフォンを使いながら自転車を運転することは禁止されている。
- 問10 ( ) 交差点で右折するときは、図のように通行する。



( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

問11 ( ) 自動車や歩行者がいない道路では、二台までであれば、並進することができる。

問12 ( ) 進行方向の右側だけに白線が一本ある（路側帯）道路では、図のように車道の左側を通行する。



問13 ( ) 歩道で他の自転車とすれ違うときは、歩行者に十分注意して、対向する自転車の左側を通行する。

問14 ( ) ヘッドホンで音楽を聞くなど、周りの音が十分に聞こえないような状態で自転車を運転することは禁止されている。

問15 ( ) 自転車を運転するときは、自分の前だけではなく、後ろや横の自転車の動きにも十分に気をつける。

問16 ( ) 道路の曲がり角付近や上り坂の頂上付近、急な下り坂を運転するときは、すぐに止まることができる速度で運転する。



問17 ( ) 自転車の交通事故は、歩行者の交通事故よりも多く発生している。

問18 ( ) 自転車の交通事故は、自宅から離れた（自宅から1キロメートル以上）道路で多く発生している。

問19 ( ) 自転車の盗難被害は、無施錠である場合が多い。

問20 ( ) 自転車安全整備店で有料の点検整備を受けて、そのことを証明するTSマークが貼ってある自転車には、点検日から2年間の傷害保険・賠償責任保険がつく。

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )